

第48回 おりひめの会

幸年期世代の品格 ～幸せな老後を送るための「今」の過ごし方～ 終了！

3月2日（水） 14：00～ はるかぜホールにて

桃の節句の時期に合わせ、第48回おりひめの会が開催されました。会場はほぼ満席状態。30代の男性やご夫婦でのご参加もあり、内容への興味深さと熱気に包まれスタートしました。

今回は医療の立場と介護の立場の2つの視点から幸せな老後について講演を行いました。最初に院長より、「長い人生における更年期世代の位置づけと過ごし方」、「豊かな老後を迎えるための準備」、「高齢社会に向けた家族の在り方」、「家族を支える更年期世代の女性に向けたメッセージ」が語られました。

続いて、訪問看護の富永部長、リハビリ事業部の井手部長、小規模多機能型居宅介護はるかぜの浦上所長より、医療介護両面から、住み慣れた我が家で少しでも長く暮らすための

トータルな支援についての話がありました。

現場に出ている職員から語られる内容はとてもリアルで、なるほどと納得するような話ばかり。みなさん熱心に頷いたり、ときには隣の人と確かめ合いながら講演を聞かれていたようです。

休憩タイムには奥山管理栄養士手作りの「なめらか豆腐のブラマンジェ（いちごソースかけ）」も配られました。会場は旬のイチゴの甘い香りでいっぱいになり、最後までとても和やかな会となりました。

参加された方々からは各講演内容に共感頂き、「最近の介護を取り巻く環境の厳しさの報道に絶望的になっていたが、在宅でも笑って家族を見送ることができるサポートをしてもらえる機関の存在を知った」とご意見いただきました。

最後には理事長から、『介護が身近な問題になってから老後を考えるのでは遅い。元気なときから「かかりつけ医」を持ち、病気と上手く付き合い、誰にもくる“死”を迎える準備をしておくことが大切』というメッセージが付け加えられました。

皆さんも早すぎることはありません。将来を見据えた「幸せな老後の送り方」、「介護の受け方」等考えてみませんか。今回も多数のご参加ありがとうございました。



なめらか豆腐の
ブラマンジェ

（いちごソースかけ）

